

# RSウイルス感染症予防接種説明書（必ずお読みください。）

## 《RSウイルス感染症について》

RSウイルスの感染による呼吸器の感染症です。生涯のうちに何度も感染と発病を繰り返しますが、生後1歳までに半数以上が、2歳までにほぼすべてのお子さんがRSウイルスに少なくとも1度は感染すると言われていています。症状としては、発熱、鼻汁などの軽い風邪のような症状から重い肺炎まで様々です。RSウイルスに初めて感染するときは、より重症化しやすいと言われていています。

## 《母子免疫ワクチンの効果について》

生まれたばかりの乳児は免疫の機能が未熟であり、自力で十分な量の抗体をつくることができないとされています。母子免疫ワクチンとは、妊婦が接種すると、母体内で作られた抗体が胎盤を通じて胎児に移行し、生まれた乳児が出生時から病原体に対する予防効果を得ることができるワクチンです。RSウイルス感染症ワクチンでは、生まれてくる赤ちゃんのRSウイルスによる下気道感染症の予防効果では、生後90日で6割程度、生後180日では5割程度の予防効果があると言われていています。

## 《RSウイルス感染症ワクチンの受け方について》

接種期間	接種回数（接種方法）
妊娠28週0日から36週6日までの間（※）	妊娠ごとに1回（筋肉内に接種）

※接種後14日以内に出生した乳児における有効性は確立していないことから、妊娠38週6日までに出産を予定している場合は医師に相談してください。

## 《接種の流れ》

- ① 医療機関に予防接種の予約をしてください。
- ② 予約した医療機関に「予診票」と「母子健康手帳」等を持参し、予防接種を受けてください。

## 《接種を受けるときに必要な書類と主な近隣医療機関》

必要書類：①毛呂山町RSウイルス感染症予防接種予診票（水色）、②母子健康手帳、③健康保険証、④診察券（お持ちの方）

医療機関名	所在地	電話	医療機関名	所在地	電話
初野医院	毛呂山町長瀬 1850	294-7713	花水木こどもクリニック	坂戸市につきい花水木 3-20-8	282-8732
おっぺ小児科アレルギー科クリニック	毛呂山町若山 1-8-7	295-5550	若葉こどもクリニック	鶴ヶ島市藤金 333-2	279-0070
ゆずの木台クリニック	毛呂山町中央 2-5-5	295-5158	愛和病院	川越市古谷上 983-1	235-8811
小川産婦人科・小児科	坂戸市南町 24-15	281-2637	令和レディースクリニック	日高市高富 46-7	042-985-1433
清水病院	坂戸市日の出町 1-8	281-0158	中村産婦人科	小川町大字大塚 1176-1	0493-72-03733
坂戸西診療所	坂戸市北峰 33	289-5111	奥平産婦人科	狭山市大字奥富 490-3	04-2954-1135
渋谷こどもクリニック	坂戸市日の出町 6-25 3F	284-1881	西埼玉中央病院	所沢市若狭 2-1671	04-2948-1111
吉松医院	坂戸市日の出町 1-16	281-0532	霞澤産婦人科医院	東松山市松葉町 1-9-8	0493-22-0210

※予約制です。（医療機関は変更になる場合があります。）

※上記に記載していない医療機関で接種をご検討している場合は、保健センターまでご連絡をお願いします。

裏面もご覧ください。

## ご注意

お渡しする「予診票」は毛呂山町に住民登録がある、妊娠28週0日から36週6日までの妊婦さんが対象となります。毛呂山町から転出した場合や、対象期間を過ぎてしまうと、利用できなくなりますので、ご注意ください。接種できる妊娠週数が過ぎてから接種をすると、予防の効果がなく、また、公費負担を受けることができません、費用は全額自己負担となります。転出した場合などは、「予診票」を保健センターまで返却してください。

## 予防接種後の副反応

主な副反応は、注射部位の疼痛、頭痛、筋肉痛が見られることがあります。重大な副反応として、ショック、アナフィラキシーが見られることがあります。

## 接種に注意が必要な人

- ・接種によって妊娠高血圧症候群の発症リスクが上がるという報告もあるため、妊娠高血圧症候群の発症リスクが高いと医師に判断された方や、今までに妊娠高血圧症候群と診断された方
- ・筋肉内に接種をするため、血小板減少症や凝固障害を有する人、抗凝固療法を実施されている方

## 他のワクチンとの同時接種・接種間隔

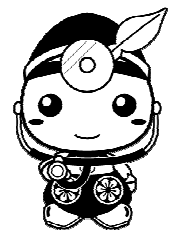
医師が特に必要と認めた場合は、他のワクチンと同時接種が可能です。ただし、海外の知見で、百日咳菌の防御抗原を含むワクチンとの同時接種で、百日咳菌の防御抗原に対する免疫応答が低下するとの報告があり、接種間隔等については医師と相談してください。

## 予防接種をうけられない方

- ① 明らかに発熱（37.5℃以上）している方
- ② 重い急性疾患にかかっている方
- ③ これから受けようとするワクチンの成分によって重いアレルギー反応を起こしたことがある方
- ④ その他、医師が不適当な状態と判断したとき

## 予防接種前に医師によく相談しなければならない方

- ① 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害などの基礎疾患のある方
- ② 過去に予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた方や全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある方
- ③ 過去にひきつけを起こしたことがある方
- ④ 過去に免疫状態の異常を指摘されたことがある方、もしくは近親者に先天性免疫不全の方がいる方
- ⑤ これから受けようとする予防接種の成分にアレルギーを起こすおそれのある方



もろ丸くん

## 接種後の注意

- ① 接種後、重いアレルギー症状が起こる事があるので、すぐに帰宅せず30分間は安静にしてください。また、接種後4週間は副反応の発生に注意し、強い痛みがある場合や痛みが長く続いている場合など、気になる症状があるときは医師にご相談ください。
- ② 接種後は接種部位を清潔に保ち、こすらないようにしましょう。
- ③ 接種当日は安静に保って過度な運動を控えましょう。接種当日の入浴は差し支えありません。

## 予防接種健康被害救済制度について

この予防接種の副反応により健康被害が発生し、医療機関で入院などの治療が必要になったり、生活に支障が出るような障害を残すなどの健康被害が生じた場合は、予防接種法に基づく補償を受けることができます。（この場合、厚生労働大臣が予防接種との因果関係がある又は因果関係がある可能性が高いと認めた場合に限りです。）制度の詳細についてや、給付申請の必要が生じた場合などは保健センターまでお問い合わせください。

ただし、定められた接種期間を外れると予防接種法に基づかない、任意の予防接種となり、予防接種法上の補償を受けられないことがあります。

問合せ：毛呂山町保健センター 電話：049-294-5511 FAX：049-295-5850